



平成 16 年 5 月 第 65 号

ながい

市議会だより



ひな祭りの料理づくり……

2月21日平野小学校PTAお母さん方の協力で、ひな祭りにちなんだ料理づくりを行いました。色とりどりのバンダナやかわいいエプロン姿の児童は、ケーキやちらし寿司づくりにお母さんから指導してもらい、40名を超える参加者で作った料理をおいしく食べました。また、1月17日の土曜ランドでは、新春将棋大会を開き、老人クラブの役員と手合わせを行いました。今年は市制施行50周年事業として「子供将棋大会」が開かれます

ふれあい

学び体験

おもな内容

ページ

- * 議会の動き……………2～3
- * 一般質問……………4～11
- * 予算特別委員会……………12～13
- * 討論……………14
- * 長井の^へところ……………15
- * 委員会の焦点……………16～17
- * 傍聴席……………18

発行／長井市議会 編集／議会だより編集特別委員会 TEL(0238) 84-2111

この議会だよりは環境を考え再生紙を使用し、議員の自主編集で発行しています。

3月定例会

平成16年3月定例会は、3月4日から23日までの20日間の日程で開催されました。

冒頭で市長より施政方針の説明を受けた後、長井市ポイ捨て等防止条例などの一般議案17件、平成15年度補正予算9件、さらに総額107億5千7百万円の平成16年度一般会計予算案及び8件の特別会計予算案等が提案され、全議案を可決しました。また、人事案件3件、意見書提出の議案2件を可決し、本定例会に提出された請願5件のうちの2件と継続審査となっていた請願1件は採択となりましたが、3件は不採択となりました。

尚、一般質問には12議員、予算総括質疑には3委員が立ち、市当局の考えをたしました。

これまでにない厳しい予算

施政方針 行財政改革を着実に推し進める

3月定例会冒頭において、市長から平成16年度の施政方針が示されました。

今まさに、従来のシステムを見直す改革の時代であり、これまでの行財政改革の成果を活かし、自治体の持てる力を発揮していくために、硬直化したシステムを創造的に再構築する行財政改革を着実に推し進めていかなければならない。このことは、第4次基本構想・基本計画の実現に全力を傾けることであり、本

の意味での地方の時代を実現することであるとしています。

市政運営の考え方では、第4次基本構想と基本計画の「協働・創造・未来の鼓動 実感ながい」の実現のために、行財政改革をしっかりと進め、自主・自立の行財政システムの確立に努めて行くとしています。具体的には、窓口業務の民間委託検討、人事制度の見直し、市政施行50周年に対する取り組み、合併問題への対応についての考えが示され

ました。

また、まちづくり施策については、基本構想の6つの分野別基本目標に沿って、説明がなされ、「まちづくり基本条例の制定」の検討、「西置賜製造業強化事業」展開や「環境保全型農業」の推進、事業者との連携による福祉サービスの充実、「構造改革特区認定」等による循環のまちづくり推進、学校2学期制の試行や旧西置賜郡役所周辺環境整備計画づくり、市政50周年事



業、最上川上流フットパス事業等に取り組むというものです。

こうした施政方針の下に編成された平成16年度予算は、歳入では、市税収入は2年ぶりに前年度比で増加に転じると見込んでいるものの、地方交付税は昨年に引き続き大幅に減少することに加え、交付税の補填となる臨時財政対策債が29・4パーセントと大幅減となり、財政調整基金、減債基金も前年度に大半を取り崩していること等から、これまでにない厳しいものになっているとのことでした。

一方、歳出は、行財政改革

を継続することを第一義に編成に当たったが、歳出抑制策以上のスピードで三位一体の改革が進んでいることから、最低限の施策を措置するものになったとの説明でした。

その結果、平成16年度一般会計予算は、前年度比8・8パーセント減の107億5千7百万円となりました。

また、特別会計予算は、山形鉄道運営助成事業特別会計や介護保険特別会計が大幅増となりましたが、公共用地取得特別会計を廃止することなどから、8つの特別会計合せたものでは、前年度比1・5

平成16年度 一般会計予算の主な内容

(単位：千円)

○市政50周年記念事業委託料	4,250
○財政調整基金積立	56,465
○シャトルバス運行事業	6,399
○NPO支援対策事業	2,400
○道照寺平スキー場用地購入費	13,052
○介護保険特別会計繰出	279,071
○民間認可保育園運営負担金	166,314
○置賜広域病院組合負担金	375,127
○合併浄化槽設置整備事業費補助金	24,930
○農業集落排水事業特別会計繰出	97,671
○やまがた園芸農業拡大推進事業補助金	40,040
○宮原地区基盤整備事業	28,007
○西置賜製造業強化事業補助金	1,500
○公共下水道事業特別会計繰出	621,594
○地方道路整備臨時交付金事業（歌丸河井線）	110,000
○西置賜行政組合負担金（消防費）	533,326
○小学校教育用パソコン借上げ料	6,261
○市政50周年記念事業委託料（子ども将棋大会）	750
○各地区公民館振興事業委託料	7,200
○市民文化会館事業委託料	7,300
○調理場調理等業務委託料	49,500
○スクールバス購入費	10,700
○市民伊佐沢プール改修工事費	2,350

パーセント減となりました。
予算審議は、15日、17日の2日間にわたり、予算特別委員会で審議され、平成16年度予算は原案通り可決されました。

また、本会議では、一般会計は賛成、反対夫々の討論が行われた後、採決の結果、賛成多数で可決され、8つの特別会計と水道事業会計予算は、全員一致で原案通り可決されました。

ポイ捨て等防止条例は修正可決

空き缶や吸い殻等の散乱を防止することで、環境の美化を図り、市民の健康で文化的な生活を確保することを目的に、長井市ポイ捨て等防止条例が本定例会に提案されました。

その内容は、市民、市内を通過する者及び公民館活動等も含め、事業活動を行うすべ

てにポイ捨て、ふんの放置、印刷物の散乱防止の規制をかけ、違反者には警告・命令をし、従わない者については、市報等による公表や手数料の徴収を行い、悪質なものに対しては過料を科すとするものです。

本議案は、厚生常任委員会に付託され審議されました。

委員会の審議では、必要な範囲において立ち入り調査できる『指定職員』の定義と職務、「美化推進員」の選定基準などについての質疑が交わされましたが、特に印刷物の散乱防止については、公職選挙法に基づいて配布した印刷物を受け取った後、悪意をもって捨てた場合の責任の所在はどこにあるのかとの質問に対して、取得をして自分のものにしたことを立証できれば、配布側の責任はないとの答弁がなされました。しかし、必ずしも配布側の責任がない部分があるとすれば、その判断が「指定職員」が公平にできるのか、また実効性を持たせるには配布者の狙い撃ちになるのではないか、その意味でいろいろな配布の形態を想定した条例であるべきとの質問がだされました。その結果、印刷物の散乱防止の条項は、市民生活を制限するおそれがあることから、全文削除すべきとの修正案が出され、採決では修正案を全員一致で可決すべきと決定したとの報告が

なされました。

本会議では、印刷物の散乱防止条項を削除し、それに関連する条項、字句を整理し、他は原案通りとする厚生常任委員会の修正案を採決した結果、全員一致で可決しました。

人事

人権擁護委員の 推薦に同意

青 木 新 一 さん

（草岡2233番地）

任期満了に伴い、引き

続き推薦

須 崎 ミチ子さん

（清水町245）

任期満了に伴い、新た

に推薦

斎 藤 文 子さん

（五十川12169）

任期満了に伴い、新た

に推薦

市政に対する 一般質問

3月定例会では12名の議員が市政全般にわたる質問を行いました。その概要をお知らせします。

なお、質問の文章は各議員が要約して執筆し、答弁は当局がまとめたものです。また、文中のQ.は議員からの質問、A.は当局からの答弁となります。



新政会代表

大沼 久 議員

「官」も「民」も

意識改革の原点にたて

答 弁

百年の大計は人づくり

Q. 先の見えないところでの予算編成を評価したい。

民間での構造改革、リストラの風は、「官・公共部門」にも波及し、無駄を省きスリム化が叫ばれ、行財政改革を推進中で、規模の縮小に終始しています。政策の評価検討が遅れていると考えます。

そこで、官としての意識改革が必要と思う。さらにそのことは、人づくりにあると考えますが、市長にお聞きします。

A. 意識改革についてはまだまだだと思いますが、市民の皆さんが主役で、それに役に立

つ所が市役所であり、職員であることを常日頃訓辞してまいりました。

Q. 行政の予算編成は、法制度で単年度主義の年度内使い切り予算です。しかし現在、事業継続と構造改革が言われています。

そこで、意識改革同様に予算を企業会計的な発想を行い、基本構想・計画と実施すれば、行財政改革の目標が明確化すると考えます。

単なる繰り越しでなく、余剰何パーセントと目標を定めれば、百年の大計を得るものと思います。

そこで市政施行50年の今年に1パーセントの目標設定をしたいと思いますいかがですか。

A. 百年の大計はまさに人づくりであります。リストラというのは人員削減ではなく、再構築と理解し、このことをしっかり教育することが大事だと思います。

効果が同じであれば、いかに少ない経費ですませるか、これが課長の力だと思います。

効果を出すことが行政評価で、内部ばかりで評価をするのではなく、見方を変えたところで評価を加えて行く方法を考えていかねばなりません。



政和会代表

鈴木 武次 議員

長井市の施策について

答 弁

特区は農地の有効利用

目黒市長が唱える自主自立のまちづくりと施政方針についてお伺いします。

Q. 中心市街地活性化対策はNPO主体のようですが、市職員の先進地研修の必要はありませんか伺います。

A. NPOはまだ発展途上で

あり丸投げはしません。商工会議所等の視察研修に参加し、市民と商店街が連携する事業を公募してまいります。

Q. 構造改革特別区域の申請及び認定という問題も多い。趣旨と実施計画を伺います。

A. 特区は、農地の有効利用で、

意欲のある皆さんをサポートして申請いたします。

Q. 今年には市制施行50周年市長は、つましくなどと云っていますが、地域文化の活用で大文化祭とすべきと思いますが、考え方を伺います。

A. 50周年事業は、市民の皆様の協力を得て、地域の芸能文化の発表の場として大切にします。

Q. 合併は二市二町の病院構成の枠組で進められています

が、白鷹・小国を加えての合併をどう思いますか。伺います。

A. 合併は法上の時限もあり、働きかけはしますが、参加いただければ歓迎すべきです。

Q. 長井市の農業集落排水事業は、広範の計画区を残したまま事業の変更をしています。とり残した計画区域の今後の整備計画はどのように進めるのか、お伺いします。

A. 西根中地区は特定環境保

全公共下水道事業で、他は浄化槽市町村整備事業で実施します。

Q. 公立置賜総合病院は第三次高度医療が目的でしたが、現在の態勢はどうか。また、長井病院の5階・6階の病棟化をどう考えますか、伺います。

A. 長井病院の5、6階の部分は難しい現状にあります。

行政パートナー制度やNPOなど民間に行政の殆どを委託する計画です。

長井市も補助金を削り福祉基金などから借り入れするなどして予算を組みました。志木市の自立計画を大胆に学び長井市自立計画を立て、民間委託計画を年次別に定め市民に周知すべきです。

A. 私、先人の遺訓をしっかりと学ぶべきと思います。

また、地方自治体の改革については、先進自治体から学ぶことが一番意義があると思います。しかし、長井市も改革に関しては他の自治体に負けてはいません。民間委託や職員の定員適正化、給与制度改革、公債費負担適正化計画と



東芝長井工場創業時の双葉山地固め

先人の遺訓に学ぶべき



フォーラム21代表

蒲生光男 議員

答 弁
改革派先進自治体に
学ぶことに意義

Q. 昭和12年8月4日当時の長井町予算の80パーセントを投じて、現在のマルコン電子

を誘致する議決をしました。用地は10万坪、東芝堀川町工場のような大企業を誘致した

いと、故上村辰五郎さんの回顧録です。大正9年郡是製糸長井工場を誘致した実績から、必ず成功すると信じて誘致活動をしたそうです。長井市は、市制施行50周年の節目を迎えますが、先人の遺訓を学び日本ケミコンとの友好関係をさらに築く必要があります。

自立計画を策定して
会派研修で、太田市、志木

市を市長・議長と共に訪問。特に志木市の自立計画は、20年後に職員を半分に減らし、

土地開発公社経営健全化計画による財政健全化対策など、着実に実施しています。今後も、「長井に住んでいて良かった。これからここに未来がある。」という実感を市民の皆さんと共有できるように、議会の皆様と議論をしながら改革を推進していかねばならないと考えます。



革新クラブ代表

高橋 孝夫 議員

17年度以降、 本当に財政は好転するの？

答 弁

改革派サミットで提言

Q. 16年度から始まった「三位一体の改革」は18年度までに、地方交付税と臨時財政対策債が減額され、「所得譲与税」と「税源移譲予定交付金」を積み上げていくということになり、最終年度で税源移譲を実施する予定で、国と地方の財源配分が様変わりしていくこととなります。市長は、「国に対する具体的な提言や提案を行なう」と言われていますが、何時までに具体化されますか。また、17年度以降は予算編成ができないと言われていますが、新たな財政計画づくりに着手する考えはありますか。

すか。市長は、「平成16年度を乗り切れば財政は好転する」と言われますが、本当にそうなるのですか。

A. 市長会での提言が基本になりますが、全国20数名の市長で構成する改革派サミットで具体的に提言していきます。13年度からの財政計画を推進したことにより、一般会計と土地開発公社の借金残高は確実に減っています。16年度が借金返済のピークで、それ以降は少しずつ楽になりますので、財政計画の見直しを行いながら新しいまちづくり計画を進めていきます。

Q. 「ボイ捨て条例」が提案されていますが、空缶等の投票は減っているように感じますが、旧来より増えているのでしょうか。またこの条例がないとモラル向上にはならないのですか。逆に政治活動等の規制につながるのではないかと心配です。

A. 広域農道や金井神など東山治いの河川敷のごみ投票は後を絶ちません。

犬のふんも散歩コース等で依然として放置されています。条例を制定してモラル向上を図りたいと考えています。



国への提言をめざす 改革派自治体サミット
(4月14日開催)

Q. 地場産センター建設時の借入金業界負担分4億5千2百万程が未償還のままで、償

答 弁

補助金本来の姿に戻すのは可能

(財)地場産センターの 課題を問う



平成会代表

佐々木謙二 議員

還対策が長井市の財政再建で残る、一つの大きな課題です。建設に当たり、山形県より建設指導・資金調達等で格別の指導を受けた経緯や県も出捐者の立ち場にあること等から、指導・援助を願う、早急に問題解決を図る時期と思います。具体的にどのように対応を含めようか、今後の対応を含め考え方を伺います。

A. 建設資金の業界負担分に関しては、県と市が連携して支援を検討することとし、具体的な対応策については今後引き続き協議していくこととしています。



建設資金の未償還対策は……

Q. 地場産業センターに係る運営費補助金は、補助制度等、適切に整備されて自治法上適正と解されます。

しかし現在の補助金支出は、2年前に実施した事業に対し補助金を交付する、事後申請のためチェックが出来ません。事前にチェック出来る補助金の在り方にすべきと思います。

2年分は債務負担行為を設定し、10年で分割補助とし、当該年度分は、事前に審査して補助金を交付する、本来の補助金の在り方に出来ると思

いますが、いかがですか。

A. 過去2カ年分を10年間で補助することでの債務負担行為を設定し、当該年度分を当初予算に計上するという補助金制度本来の姿に戻すのは事務的には可能と考えます。ただし、地場産の方で10年償還を条件に借り入れできることが前提となりますので、17年度予算編成時に改善できるように、地場産業振興センターなど関係者と協議をしながら検討します。



公明党代表

谷口 栄子 議員

子育て支援の

環境整備について

答 弁
不妊治療の補助制度は
市報で周知

Q. 子育て支援の環境整備について「待機児童0作戦事業」

が推進され、親の働き方に合わせて多様な保育サービスの財政支援が拡充されました。

また、党が強力に推進してきた「児童手当」は、今年4月から小学校3年生修了まで拡充されましたが、本市の状況を伺います。

A. 長井市は許可保育園で延長保育を実施する等、多様な子育て支援事業を進め、平成12年度から4年間、待機児童ゼロとなっています。今年度は児童手当を拡充し、3年生迄7百7拾7人分、5千4百

17万円を支給する予定です。

Q. 次に小児救急医療の充実について伺います。核家族化が進み子どもの急な病気に万全な対応として、小児科医が電話でアドバイスをする「小児救急電話相談」が4月よりスタートします。公立置賜総合病院での対応はどうされていますか。

さらに、不妊治療の助成について、治療費の経済的負担の軽減を図る新たな助成制度が創設されますが、その取り組みと手続はどうか。また、女性専門外来の設置を公立置賜長井病院で対応出来ないか

お聞きします。

A. 小児救急医療は市内7診療所で標榜し、時間外も公立置賜総合病院が対応しており充実しています。不妊治療の補助制度は、わかりしだい市報で周知します。また、公立置賜総合病院の相談日を女性に配慮するよう求めます。

Q. 校内や通学路の安全、防犯ブザー配布等、学校の安全管理を伺います。

A. 防犯ベルの整備や不審者対策マニュアルを作成して訓練していますが、防犯ブザーの配布予定はありません。



学校の安全管理は万全か



2市2町合併検討協議会（2月3日開催）



日本共産党代表

藤原民夫議員

「三位一体改革」は

地方切り捨て策では

答 弁
三位一体の改革は不十分

Q. 小泉内閣の打ち出した、地方財政の「三位一体改革」は、全国の首長アンケートで8割近くが「評価しない」と答えています。地方交付税の

大幅な削減と同時に、人口の少ない市町へ配布する財政調整機能を見直すという削減策も自治体運営を困難に陥れているからです。さらに、「究

極の行政改革」といわれる市町村合併をすすめています。こうした国の、地方切り捨て政策に対する市長の考えは。

A. 三位一体改革については、私もあまり評価しないと答えました。改革と言うならば、いつまでにどのような姿にしたいのかを国民に明らかにするべきで、現在のやり方は不十分な改革としか言えません。今後は、地方自治を担当している者として、国に対しても積極的に提言していきます。

Q. 長引く不況のなかで、一人親方とよばれる大工、塗装、板金などの仕事が減っています。そこで、市が発注する一定金額以下の公共事業を、入札資格のない小規模業者にも受注の機会を拡大して、市内経済の活性化に結びつけることができないか。この制度はすでに全国各自治体で取り入れられており、調査研究して実現をはかれますか。

A. 小規模業者への発注は地元への雇用拡大にも資すると思いますので、是非検討してみたいと考えます。

Q. 旧郡役所の活用策に付いて、県費補助を受け入れて立派に改修されているが、利用については柔軟な対応が必要では。

A. 旧郡役所の活用については、



小関勝助議員

駅西開発とレインボープラン 特区のあり方について

答 弁
遊休地の利用等 関係者と検討

Q. 宮原担い手土地改良事業後の波及効果と今後の駅西開発について伺います。

この地域は、まちづくりの上でも重要な地域、街路事業によりまちなみもきれいになりましたが、長井駅の西や中道地区は狭い道路が多く、地域の声は区画整理事業を望まれていますがお聞きします。

A. 長井線西側一帯の整備は、

地域の大きな期待がありますので、広く生活・文化を高めるといことで、時間の方も柔軟に対応してまいります。

都市計画道路北台幸町線用地買収方式で整備したことにより補助事業による面的整備は難しくなりましたが、今後遊休地の利用を含めて地元関係者と検討してまいります。

Q. 耕畜連携による環境保全型農業を今後も推進する事を望みます。また、本年11月より家畜排泄物の管理を義務づける法律が施行されますが、



おらだの菜園（仮称）構想が進む

畜産農家への市の対応と現状について適正に対応されているか伺います。

A. 法対象畜産農家は37戸、その内まだ基準を満たしていない農家は7戸です。補助事業の導入等を図り、期限にまにあうよう取り組みを進めてまいります。

Q. レインボープラン特区について、市民と農業者が共に相乗効果生まれ信頼する関係が必要です。特区申請は、

内容等について所管の農業委員会や農業担い手への説明のいまま行われており、早急に理解を得る必要があります。また、現在本市で進められている地域農業マスタープランとの整合性も必要と考えますが、その見解を伺います。

A. 3月3日に農業委員会運営委員へ説明し、25日には全員協議会へ説明の予定です。特区は市の農業振興方針とレインボーの考えに沿った営農を行うことを条件にしております。



大道寺 信 議員

補助金のあり方は

答 弁

補助金の望ましいあり方を確立

Q. 市民と協働のまちづくりを進めていく上で、NPOや地区（自治会）、各種団体あるいは市民個人等の協力は不可欠であります。平成16年度予算では多くの補助金が出た。あるいは廃止になりま

した。今回の補助金カット、廃止は言われているように行財政推進委員会で議論されたものなのか。また、16年度が厳しいから我慢をして頂くということについては理解をするものの、ゼロとなつた補助金は16年度だけの措置なのか、今後も補助金は出さない

ということなのかについての考えをお聞きます。

A. 補助金は、自治体の財政に余裕があり、公益上必要がある場合に支出することができるとされています。このたびの補助金の予算措置については、とりあえず16年度限りのものと考えていますが、行財政改革推進委員会などでさらに検討を重ねていただき、補助金支出の望ましいあり方を確立したいと考えます。

Q. 人事制度見直しは給与制度まで踏み込むとすれば、評価基準、システムが公平、公正なものにしていくことが最も重要であります。評価システムは、目標を可能な限り客観的な尺度、数値に置き換え、目標がどの程度達成されているかを定量的に評価できるようにしていくことが必要であるとありますが、この評価システムについてどのようにお考えかお聞きします。

A. 評価システムは、単に昇格や昇任に活用するのではなく、職員の特性を引き出し人材育成に生かすよう検討しま

す。

15件度から係長以上の目標設定を導入しており、これを受けて、行政評価もわかりやすくシステムを構築してまいります。



地域づくりの拠点「公民館」



蒲生吉夫議員

市施設の老朽化に対応を

答 弁
計画的メンテナンスを実施

Q. 施政方針でまち周辺部の家庭の生ゴミや営業からでた生ゴミ、畜糞を廃棄物にしないで環境保全型農業を推進すると言っていますが、集めて処理するよりは主にコンポストを使っていきますので良質の菌を推奨し自家レインボープランのマニュアル書などを作る事の方が効果的だと思います。

A. 周辺部の家庭生ゴミも事業所系も科学技術の進歩で、堆肥化は相当進行しておりますので、できることからやっていきたいと思っています。

Q. 地区公民館や体育施設など公共施設と暖房設備などの

老朽化が進んでいます。施設を長期に使用するには計画的にメンテナンスする必要があります。専門的な知識を持った職員でプロジェクトを組織し全体的な調査・評価をする必要があります。

A. プロジェクトを組織して、老朽化した施設の診断を行い、計画的にメンテナンスしていくよう、施設の管理者として検討すべきだと思います。

Q. 市制施行50周年事業の計画と予算は、他の委託料や補助金の削減と比較して十分大掛かりで派手であると思いますがどうですか。



今後の生ゴミ堆肥化は……

A. 市民の盛り上がりでの第九や米長棋聖を迎えての講演と子ども将棋教室等、多くの団体関係者の皆様の参加と協力を得て実施して参ります。

Q. 地場産業振興センターの高度化資金の返済が終わり、今後の運営は、一部ではなく公益的事業も含め全部を民間で運営した方がずっと効果的だと考えますがどうでしょうか。

A. 地場産センターが果たすべき機能と受ける側の条件とのすり合わせが必要だが、タスビル全体の効率的な運営が図れるよう検討して行きます。



我妻 昇議員

条例制定で旧郡役所の利用はどうなるのか

答 弁
市民が行うイベントは地域行事

Q. 今定例会に上程された議案第23号は、旧郡役所の利用が午後4時30分までとなっており、市民にとつては不便な施設になってしまうのではないかと心配です。また、営利目的では使用できないとありますが、地域のイベント等でコンニャクなどを販売するのにもこれに該当するのですか。

A. 旧郡役所を利用して地域住民が行うイベント等については、地域行事の一環で、利益を得る目的ではなく使命実現が目的ですので営利目的には当たらないと思います。

Q. 観光パンフレットや市内

案内図を、より多くの方々に見てもらうため、コンビニやガソリンスタンドへ頭を下げて設置依頼をしている姿は、高く評価出来ると思います。商工観光課として今後の事業方針をお聞きます。

A. 今後は、コンビニエンスストアだけでなく、できる限り多くのガソリンスタンドに地図やパンフレットの配置をお願いします。また、市や県観光協会のホームページへタスビルに情報を掲載します。

Q. 市で使用している各種封筒の印刷費はいくらですか。その費用を削減するため、市



市民の利用が期待される旧郡役所

内企業の広告を封筒に掲載し
広告料を印刷費にあててはど
うでしょうか。行政視察や出
張、郵便などで市内・県内は
もとより全国に出回っていく
わけですから、その宣伝効果
から掲載を希望する企業があ
るのではないのでしょうか。

A. 印刷代金は、封筒代金含
みで年間約2百50万円程度で
す。広告印刷については、印
刷単価と広告料金の関係もあ
りますので先例地に学び、研
究してみたいと思います。

平成16年度は、国からの交
付金、補助金等の大幅カット
が続く中でピークを迎えた返



内谷重治議員

市民が創る市民の

長井市・実現を

答 弁
条例検討委員は公募で

済金22億円の財源をどう確保
するかが最大の課題であり、
真に正念場の年です。

しかし、財政が大変だから問
答無用で緊縮財政と言うのは、
市民にとって、当局の身勝手
な発想に過ぎません。

今こそ、市民との情報共有
が最も重要だと考えます。

Q. 第4次基本計画の柱であ
る『まちづくり基本条例』は、
市民のまちづくり参加と情報
共有の憲法となるものです。
市民が創る市民の長井市・実
現のため、志木市の行政パ
ートナー制に学び（仮称）市民
委員会の設立と共に、行政業

務の民間委託の受け皿となる
NPO的団体の育成・支援を
図ってはいかがですか。

A. 条例検討委員は、公募も
考えていますが、議会や職員、
地区の意見も聞きたいと考え
ています。より良い協議方式
の検討からはじめなければな
りません。16年度に進め方を
検討しますので、ご意見をい
ただきたいと思います。

行政サポーターは、すぐ取
り組むには難しい所がありま
すが、法律的な面を整理し、
自主的な議論の中で、対応可



NPOの除雪サービス

能施設と導入について研究し、
具現を考えて行きます。

Q. 事務レベルで検討してい
る2市2町の合併は、次第に
各市町の財政や行政改革の取
り組み状況等が明らかになり
ました。今後の進め方につい
て、市民との情報共有が大切
と考えますがいかがですか。

A. 合併法定協議会ができれ
ば月1回、広報誌が出ると考
えています。情報はできるだけ
公開、共有し、自らの責任
で決断し必要な時期に決定し
たいと考えています。

予算 特別委員会

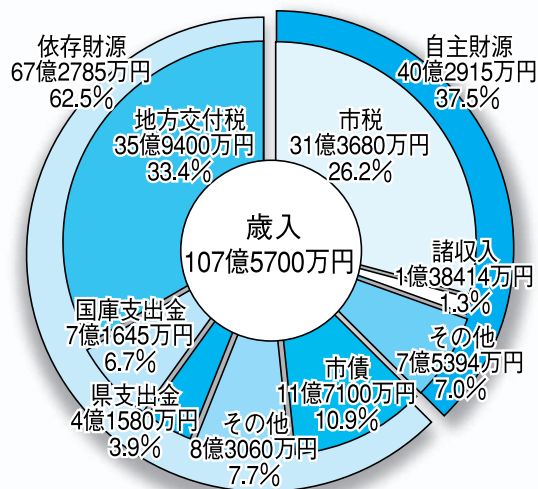
補正予算・新年度予算を可決

予算特別委員会は、平成15年度と平成16年度予算の審査を分けて行いました。15年度補正予算は人件費の各課の組み替え、除雪費の補正など年度末に支障をきたさないものとするため、3月定例会だけに適用する措置です。

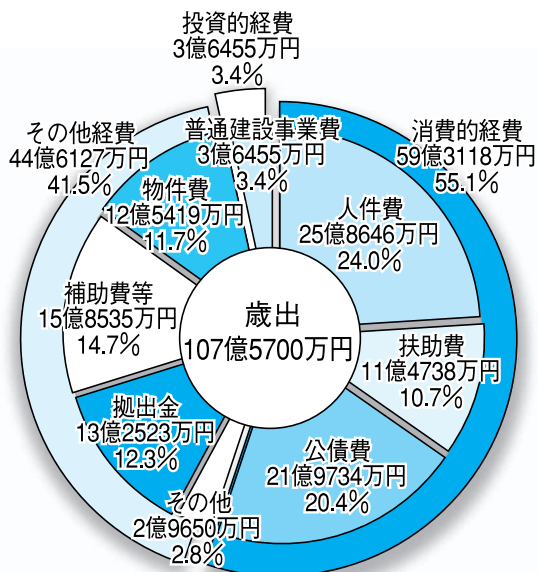
新年度予算審査では、3委員が総括質疑に立ち、また細部審査でも活発な議論がおこなわれた後、採決の結果、補正予算及び新年度特別会計予算は全員一致で、新年度一般会計予算は賛成多数で可決しました。

平成16年度 一般会計予算

歳入



歳出



平成16年度 長井市各会計予算の総額

(単位：千円)

会 計 名		平成 16 年度 予 算 額	平成 15 年度 予 算 額	伸率 (%)
一 般 会 計		10 757 000	11 800 000	△ 8.8
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2 573 000	2 378 827	8.2
	物 品 調 達 特 別 会 計	37 592	38 474	△ 2.3
	公共下水道事業特別会計	1 539 804	1 654 511	△ 6.9
	老人保健医療費給付事業特別会計	2 949 437	3 324 050	△11.3
	山形鉄道運営助成事業特別会計	111 778	34 044	228.3
	農業集落排水事業特別会計	150 464	148 948	1.0
	訪問看護事業特別会計	3 236	27 986	16.6
	介 護 保 險 特 別 会 計	2 036 303	1 763 986	15.4
	公共用地取得事業特別会計	0	208 522	皆減
	小 計	9 431 014	9 579 348	△ 1.5
	合 計		20 188 014	21 379 348

平成15年度 一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

国民健康保健特別会計繰出	15 085
福祉施設整備補助金	2 000
置賜広域病院組合負担金	15 281
異常気象農作物種子購入助成事業費補助金	1 481
農用地流動化奨励補助金	8 700
道路除雪作業業務委託料	42 960
道路除雪機械借上料	22 313

総括質疑

負担増になるのでは

高橋孝夫委員 16年度は補助金等の削減が目立っています。その結果、住民で組織する団体や住民組織などへの補助金等がカットされその組織を構成する住民の新たな負担となりはしないか心配です。これは、16年度限りの措置ですか。佐藤仁財政課長 16年度一時お休みとしたものは19件5百70万円ほどです。現在も行財政改革推進委員会に検討をお願いしており、今年度予算計上は見合わせたもので完全に廃止とは考えていません。現在、様々なカットをしながら予算編成をしており、それらの組織でも運営方法を見直していただきながらご理解とご協力をお願いしたいと考えています。

金がゼロとなり、活性化事業補助金が増えています。15年度の実績と、なぜそういう形にしたのですか。竹田辰雄教育長 活動費補助を申請しないのが3館、活性化事業補助は2館が該当しています。監査などから「成果が見えにくい」という指摘があり、教育委員会で検討し活性化補助金としたものです。

消防力の強化策は

安部 隆委員 消防職員の充足率が基準数(61・8%)に對して下回っている状況です。近年の火災は、複雑多様化大規模火災が頻発傾向にあります。消防力の強化は行財政計画と相反している状況ですが、消防力の強化策についていかが考えていますか。市長 職員の充足率は、ご指摘のとおり厳しい状況ですが、民間消防団の皆さんとの協力連携をさらに緊密にしていくとともに、財政の健全化を少

しずつ達成しながら対処していきたいと思っています。

安部 隆委員 資源循環型社会の実現を目指し、県ではリサイクル認定制度をスタートさせています。市ではレインボープランを始め、省エネ等の先進的な取り組みがなされていますが、リサイクル品の認定確保、普及等に対してどのような指導を行っていますか。市民課長 ゴミの資源化では、全国ベースでリサイクル率14・3%のところ、長井市では35・4%と生ゴミの資源化により高くなっていますが、さらにISO14001に基づ



き積極的な取り組みを行っております。県の認定するリサイクル品の優先調達及び使用についても関係機関に紹介してまいります。

古代の丘管理運営委託料のカットに疑問

蒲生吉夫委員 学校給食調理業務の業者委託は、請負方式と言っていますが、施設・設備・光熱水費等すべて市の負担で、人材派遣に極めて近いのではないですか。教育長 『長井市財政の交換譲与、無償貸与等に関する条

例』に基づき、業者から使用許可願いが出され、市長承認のもとに無償で貸与するという契約を締結しています。蒲生吉夫委員 1億円を超え、る調理業務請負契約であり、当然、競争入札をすべきところをプロポーザル方式で随意契約しましたが、地方自治法施行令の何に該当させましたか。

調理場長 第167条第1項第2号の後段『その他の契約でその性質または目的が競争入札に適さないものをするとき』という条項です。

蒲生吉夫委員 古代の丘管理運営委託は、雪囲いまで含めた周年委託事業ですが、委託料が前年より25%低いので9月頃までになるのですか。残った部分は別に委託するのですか。

市長 厳しい財政から、特に平成16年度については25%カットでお願いしたいと担当課から運営協議会幹部の皆さんにご説明申し上げ、ご了解を戴いたと思っています。

討論

●イラクに派兵された自衛隊の撤退を求める請願に賛成 (蒲生 吉夫議員)

イラク攻撃の最大の理由とした大量殺りく兵器は見つかるはずもなく、国際的にも一片の正義がないのは明白です。大量の劣化ウラン弾が使用されたとの報告があり、例外なく自衛隊も被爆すると言われています。また、現在も毎日のように繰返されるテロ行為は拡大傾向にあり、誰がやっているかわからない中では防

止や予防の手段は見つかるはずもなく、自衛隊が撤退することはテロに屈したことにはなりません。よって本請願に賛成するものです。

●理想の学校給食を実現するための請願に賛成 (蒲生 吉夫議員)

本請願は、調理業務が中央大手の事業者に委託されることによる不安と疑問、施設・設備の老朽化によって、安全・

安心の給食を提供できるかという心配からなされた請願です。学校給食のあり方についての研究を、市民の代表である運営委員会に諮問すること

は国の「手引き」にも則しているし、35年が経過している施設・設備の問題点を洗い出すことは、規則や指針に何ら反することではありません。常任委員会の不採択の審査は、先入観を捨て、公平・平等にすべきだったと考え、本請願に賛成するものです。

●年金制度改革に関する請願に賛成 (藤原 民夫議員)

公的年金制度の土台となる基礎年金は、老後の所得保障の根幹となっており、94年の国会では国庫負担割合を3分の1から2分の1に引き上げることを、全会一致で政府に

求めているにもかかわらず先送りしています。国民が納めた保険料の積立金を株式運用して、6兆円もの穴をあけながら誰も責任を取っていない中で国民のみに痛みを押し付けることができるでしょうか。よって年金制度改革を求める

本請願に賛成します

●平成16年度一般会計予算に反対 (藤原 民夫議員)

本予算案は、小泉内閣の地方交付税大幅削減に対して抗議するということではなく、市民活動への補助金削減という第4次基本構想の協働によるまちづくりに反した予算編成であります。今回補助金が

ゼロにされたのは15団体中40団体で、減額が33団体にもものぼる一方、地場産センターには3千9百50万円もの運営費補助を計上し、ハイマン電子の破産による巨額のツケが、市民にのしかかるのではないかという不安に弁明も解決策もない、言わば弱きをくじき強きを助ける本予算に反対します。

●平成16年度一般会計予算に賛成 (内谷 重治議員)

財政再建5カ年計画の4年目に当たる16年度予算は、ピークを迎えた公債費21億9千7百万円の財源が最大の課題ですが、市三役・職員・議員の給与カットや、学校給食調

理業務の民間委託等アウトソーシングによるスリム化など、市民・職員・議員が一体となつて財政再建に取り組んできたからこそ、この非常事態に対応できたと確信します。また、少額ではあっても企業・観光・農業の振興への積極的な姿勢は大いに評価できることから、本予算に賛成します。

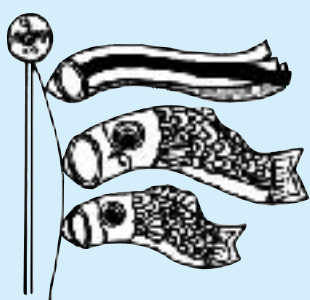
●平成16年度一般会計予算に反対 (蒲生 吉夫議員)

16年度廃場業務委託の入札は、社会保険その他諸経費がかからないシルバー人材センターが落札するのは確実で、就職難の状況のなか拍車をかける心配があり、不明朗で無理のある施策であります。また学校給食調理業務も中央大手企業に委託され、不況にあ

えぐ市民にとって雇用拡大には結びつきません。さらに体育協会運営費補助金をゼロにする一方、地場産センターにはザブザブと補助金が投入されるという、極めて問題のある予算編成であり反対します。

●平成16年度一般会計予算に賛成 (蒲生 光男議員)

この度の予算編成は、過去最も苦心したものとなりました。交付税の大幅削減や一般財源化に対し、補助金の廃止や減額、土地改良区の負担金、慈光園補助金を立て替えてもらい、人件費削減分を年度内に取り崩す手法で編成しました。一方、給食調理場の民間委託や小学校パソコン納入と保守の分離発注などで5百44万円を節減、スクールバスの委託など現在できるスリム化に取り組む一方、今後20年後の職員定員についても半減の方針を示すなど行革への取組みは評価できます。ポイ捨て条例設定も環境都市ながいの一環として評価すべきであり本予算に賛成します。





雪灯りの バレンタインデー

の巻

長井の
e1
ところ

第4回

2月14日といえばロマンティックな夜の「バレンタインデー」ですが、今年の長井は新たな動きがありました。

発端はある一人の青年

冬のしんとした夜に、『長井の街をローソクの灯りでいっぱいにしたい』まるでメルヘンの世界を頭に描き、彼は所構わず夢を語り歩き回ったようです。

バケツやゴミ箱に雪をバンバンに詰めて引っくり返し、ローソクが入る程の穴をくり抜いて灯りをとます。単純な作業ですが面倒でもあります。

「誰にも分かって貰えないのではないか。」「2月14日はずっと以前に猛吹雪で113号線がマヒした日でもあり、ローソクなど役に立たないのではないか。」彼は、様々な不安を抱えながら、時には馬鹿にされながらも、一人二

人と賛同者を増やしていくのでした。

実行委員会が組織される

彼の情熱は地場産センター

の協力もあり、一気に実行委員会立上げまでに成長しました。

商店街や子ども会・工科大の生徒など組織として協力する団体も出はじめ、最初

抱いていた不安とは反対に本

番を迎えるのが楽しみになっ

ていったのではないかと思います。

当日はタス・つつじ公園・各商店街・元ダイエー駐

車場等で、ランタンや灯籠・

かまくらや雪だるまなど、大

勢の人々が思い思いに作業し

ている姿がみられました。

花火を合図に一斉に点火

午後5時の合図で、それま

で薄暗かった街並みはローソ

クの上品な灯りでいっぱい

になりました。きつと彼はそれ

を見て、歩道の使用許可が必

要なことを直前まで気づかな

かった事、言葉足らずで人に

迷惑をかけてしまった事を反

省しながらも、本当にやって

よかったと、心から思えたこ

とでしょう。しかしこの日は



吹雪どころか雨が降り、7時頃にはローソクが消えてしまふという落ちまでついたようです。

初の試みとしては大成功の「雪灯り回廊」が、来年再来年はどうなるのか大変楽しみです。彼の夢は

『市内全戸の玄関先に雪灯りがともされた姿を、ヘリコプターから撮影したい』という

ものです。情熱が成功の秘訣という事は彼自身が体験したことですから、その夢に近づくことでしょう。

今後「雪灯り回廊まつり」が市民に愛されるイベントとなり、バレンタインデーのひとときをロマンティックに演出できるよう見守りたいと思います。

(W・N)

総務文教

万全な管理体制を

付託されました議案3件、請願2件と継続審査となっていた請願1件の審査を行いました。

議案第23号「長井市文教の杜ながい設置条例の一部を改正する条例の制定」については、旧西置賜郡役所を文教の杜の施設として活用を図るため、4月1日より市民に開放し、会議室、展示室としての使用料金を定めるために提案されたものです。質疑の後、万全な体制でスタートする状況ではないことから、年次計画で整備をしていくこと、万全な管理体制を確保すること、さらに問題があれば早急に解消することなどの意見が出され、裁決の結果、全員一致で可決しました。

請願第5号「理想の学校給食を実現するための請願」については、学校給食の調理業務が民間委託されようとしているが、教育の一環である学校給食の理想の給食とはどうあるべきか、の調査、研究等を学校給食調理場運営委員会に諮問し、施設設備を早急に改修してほしいとするものです。審査では、理想の給食を追求し、実現することが、行政の責務であり賛成とする意見、運営委員会に諮問するのではなく、市長部局、教育委員会に諮問するものであり、かつ施設整備も検討中との事から反対であるなどの意見が出され、裁決の結果、不採択となりました。

請願第5号「理想の学校給食を実現するための請願」については、学校給食の調理業務が民間委託されようとしているが、教育の一環である学校給食の理想の給食とはどうあるべきか、の調査、研究等を学校給食調理場運営委員会に諮問し、施設設備を早急に改修をしてほしいとするものです。審査では、理想の給食を追求し、実現することが、行政の責務であり賛成とする意見、運営委員会に諮問するのではなく、市長部局、教育委員会に諮問するものであり、かつ施設整備も検討中との事から反対であるなどの意見が出され、裁決の結果、不採択となりました。

厚生

県内初

「ポイ捨ては禁止」

付託された議案三件、請願二件のうち、特に焦点となつた議案十七号「長井市ポイ捨て等防止条例の設定について」が提案され、最終日に一部修正して可決しました。この条例は、一昨年環境の国際規格であるISO14001を認証取得し、環境都市長井を目指す取り組みの一環で、山形市、鶴岡市、松山町に「空き缶等散乱防止条例」があるものの、ポイ捨て対象物がすべ

付託された議案三件、請願二件のうち、特に焦点となつた議案十七号「長井市ポイ捨て等防止条例の設定について」が提案され、最終日に一部修正して可決しました。この条例は、一昨年環境の国際規格であるISO14001を認証取得し、環境都市長井を目指す取り組みの一環で、山形市、鶴岡市、松山町に「空き缶等散乱防止条例」があるものの、ポイ捨て対象物がすべ

てのものに渡る条例は初めて。長井市内を通行する、他市町の住民も対象になり、違反し改善勧告にも応じない場合、住所・氏名が市報などによる公表、悪質者は手数料の徴収、過料を科すというものです。修正された箇所は、公職選挙法に基づいて許可を受けた印刷物を配布し、または、捨てるという意識で受け取り、捨

てのものに渡る条例は初めて。長井市内を通行する、他市町の住民も対象になり、違反し改善勧告にも応じない場合、住所・氏名が市報などによる公表、悪質者は手数料の徴収、過料を科すというものです。修正された箇所は、公職選挙法に基づいて許可を受けた印刷物を配布し、または、捨てるという意識で受け取り、捨

てられた配布物の回収義務を配付者が負うのかどうかで議論になった。当初条例案では、配付者が回収義務を負うとしていたため、これでは市民生活を制限する恐れがあることから、この条文を削除すべきだという意見に、厚生委員会で全員が賛成して修正案を最終日に提案したもので、全会一致で議決されました。



任 会 点

結果など

産業建設

市道(築地線)
年次計画で検討すべき

産業・建設常任委員会に付託された議案8件、請願1件の審査を行いました。

『長井市下水道条例の制定』

については、(株)長井観光の温泉排湯の使用料金が膨大となり経営を圧迫すると推測されるため、産業振興の観点から、温泉を持つ近隣市町並に料金改定を行うものです。

討論では、近隣自治体と同じ通常料金の3割程度の使用料であり、妥当と考えられるが温泉成分等の排水処理に問題が生じないよう指導すべきとの意見が出されました。

採択の結果、議案8件は全員一致で可決されました。

『市道築地線(寺泉地内)の道路拡幅の請願』については、介護老人保健施設『リバ



「ヒル長井」に通じる市道が狭隘な状況にあり、介護用車両や入居者増で交通量が増大し、待避所が1カ所あっても、特に冬期間の往来が困難だとして提出されたものです。

討論では、生き物ふれあい公園に通じる道路でもあり、幅員5mと狭いので、新待避所も設置されるが年次計画で

常
委員
焦
主な審査

検討すべきとの賛意が出されました。また、公的施設ではあるが、民間事業所として一方通行等の自助努力も望まれ、請願も施設と地区との話し合いを踏まえた上で提出すべきとの意見も出されました。

採択の結果、本請願は全員一致で採択されました。

意見書

●消費者保護基本法の改正に関する意見書

消費者契約に関するトラブルが増加する中で、消費者保護基本法の改正に当たっては、消費者利益を確保するために、消費者の権利を具体的に明記するとともに、消費者被害を

請願

採択

●市道築地線(寺泉地内)

道路拡幅の請願(請願者リバーヒル長井評議員・飯沢栄一郎、鈴木 利文)

●「消費者保護基本法」の抜

本改正を求める国への意見書提出を求める請願(請願者 生活協同組合共立社、共立社西置賜生協・地域理事会議長四釜 眞理子)

●菅原白龍記念館建設に関する請願(請願者 菅原白龍

不採択

生誕記念事業協賛会会長・梅津 幸男)

●イラクに派遣された自衛隊の撤退を求める請願(請願者 西置賜地区平和セン

ター議長・佐藤 清蔵)

●年金制度改革に関する請願(請願者 西置賜地区平和センター議長・佐藤 清蔵)

●理想の学校給食を実現するための請願(学校給食を考える長井・西置賜の会代表委員・佐藤 清蔵)

効果的に防止・救済するため消費者団体訴訟制度の新設と消費者政策の総合的かつ一元的な体制を設ける事などについて特段の措置を講じられるよう強く要望するとするものです。

●地方財政基盤の確立を求める意見書

各市町村は、平成16年度予算

編成において、過大な収入不足を招くなど、極めて深刻な状況となっており、住民サービスの低下をもたらすおそれがあることから、交付税の大幅削減の中止と、税源移譲については福祉・教育の財源拡充を図り、税源基盤の脆弱な自治体への交付税措置などの特段の配慮を強く要望するとするものです。

傍聴席

本町
梅津美智市民の意思を
尊重すべき

去る3月9日「国際ソロプチミスト長井」で、かねてより計画していた市議会を傍聴しました。

傍聴席に入ると厳肅な空気が漂い、身が引きしまる思いがしました。

一般質問では、合併問題や地方交付税について等、市政に関することや、私たちの身近な問題が取り上げられました。市議会の模様は、市議会だよりでも広報されていますが、合併問題は市民にどれだけ行きわたっているのか疑問に思われました。合併問題は、市民の総参加と市民一人一人

の意思が尊重されるべきではないでしょうか。

また、西置賜旧郡役所の活用についても取り上げられましたが、長井市には文化的に活動する施設も少なく、市民のニーズに答えられない状態にあると思われる、それだけに旧郡役所の活用はすばらしいことであり、私たちはこれまでも大変関心を持ってきました。当クラブは認証15周年を迎え、記念事業として旧郡役所に何か貢献し、市民にも活用して頂きたいと話し合っています。



約2時間傍聴させて頂きました。議員の方々は市政の為、市民の為に、より良い長井市になる様努力されている様子がひしひしと感じられました。



6月

定例議会の

予
定

(開会は午前10時)

5・28(金) 告示

6・2(水) 議会運営委員会

6・7(月) 定例会本会議

6・11(金) 一般質問

6・14(月) 一般質問

6・15(火) 総務・文教常任委員会

6・16(水) 厚生常任委員会

6・17(木) 産業・建設常任委員会

6・18(金) 予算特別委員会

6・23(水) 議会運営委員会・本会議

◎正式な日程は、議会運営委員会
会で決定します。

議会傍聴に

お越し下さい。

難しい手続きはいりません。議場入口で、氏名、住所を記入してお入り下さい。尚、議場へは庁舎東側階段をご利用下さい。

編集後記

卯月4月は、草木の芽吹きとともに新たな出発の始まりの月でもあります。

夢と希望を胸に、ご入学ご就職など人生の新たなスタートに踏み出された市民の皆さまに對しまして、心よりお慶び申し上げます。

今年は、長井市の市制施行50周年という記念すべき年にあたります。

しかしながら、今年が財政再建のまさに正念場というのも、天が私たち市民に与えられた試験ででしょうか。

この議会だより編集作業と平行して、各地区・団体では総会が開催されました。市助成金のカットされる等、厳しい予算での運営に役員の皆様のご心労は言葉では言い尽くせないと思います。

この節目の年に、改めて後世につけを負わせることなく、私たち子どもたちの未来に希望の持てるまち長井を築いていくよう皆様と共に誓い合いたいと思います。

■編集委員 ◎委員長(副委員長)

◎大道寺 信 ◎我妻 昇

佐々木栄七 佐々木謙二
蒲生 光男 内谷 重治